

持続可能性の 教育の方法と可能性

日時

2015年10月10日

(午前10時～午後5時)

場所

学習院大学

主催：学習院大学文学部教育学科

共催：日本環境教育学会

午前の部

ワークショップ

—持続可能性の教育をどのように進めるか—

開会の言葉と趣旨説明：諏訪哲郎

飯沼慶一

—ミニ・ワールドカフェ：持続可能性の教育とは何か—

李在永(韓国)

—ESD教育の経験と参加による緊密な出来事とその意味—

〈昼食〉

午後の部

シンポジウム —持続可能性の教育の可能性—

司会と趣旨説明 諏訪哲郎・阿部治・降旗信一

基調報告1 スタファン・スヴァンバーグ(スウェーデン)

—社会変革の動因としての持続可能な開発教育の国際的実践事例—

基調報告2 エイミー・カッター・マッケンジー(オーストラリア)

—何のための教育か—

—オーストラリアの子どもと若者にとっての持続可能性—

基調報告3 佐藤学

—持続可能性の教育の必然性と可能性—

パネル・ディスカッション：スタファン・スヴァンバーグ、

エイミー・カッター・マッケンジー

李在永、阿部治、佐藤学、

諏訪哲郎(司会)

閉会の言葉：嶋田由美

アクセス：山手線目白駅・徒歩1分(学習院大学キャンパス・北1号館201においでください)

連絡先：学習院大学文学部教育学科事務室

(171-8588 東京都豊島区目白1-5-1) 電話：03-3986-0221(内線5706) Email：edu-off@gakushuin.ac.jp

学習院大学文学部教育学科創設記念第3回国際シンポジウムの登壇者紹介



スタファン・スヴァンバーグ

現職教師を経験した後、持続可能性の教育開発のスペシャリストとして活躍、ヨーロッパ以外の17か国の教育開発を指導している。



諏訪 哲郎

学習院大学教授・学科主任。日本環境教育学会会長。NPO日中韓環境教育協力会代表。主な編著書『沸騰する中国の教育改革』(東方書店)、『持続可能性の教育』(教育出版)。



エイミー・カッター・マッケンジー

オーストラリア・サザン・クロス大学環境教育研究センター主任・学校研究副センター長。同大学教授。環境教育の多数の著書、論文で知られ、政府の学習教育行政にも貢献している。



佐藤 学

学習院大学教授。東京大学名誉教授。日本教育学会元会長。全米教育アカデミー会員。アメリカ教育学会名誉会員。「学びの共同体」の学校改革を提唱し、国内外の研究活動と改革の支援活動を展開している。



李 在永

韓国・公州大学教授。韓国環境教育学会会長。公州環境教育センター長。韓国環境教育プログラム専門委員。



飯沼 慶一

学習院大学教授。日本環境教育学会前事務局長。立教大学大学院博士課程単位取得退学。成城小学校での23年間の教師経験をもとに環境教育を推進。



阿部 治

立教大学ESD研究所長。日本環境教育学会前会長。人と自然のみならず人と人との関係を含む広義の環境教育を推進。



嶋田 由美

学習院大学教授。武蔵野音楽大学大学院音楽研究科音楽教育専攻修了。和歌山大学教育学部を経て2013年より学習院大学。博士(教育学)。



降旗 信一

東京農工大学大学院准教授。学習院大学大学院非常勤講師。著書『持続可能な未来のための教職論』(学文社/共著/2016年3月刊行予定)など。